



発行番号：第14A3530号
発行日：平成27年 1月26日

品質性能試験報告書

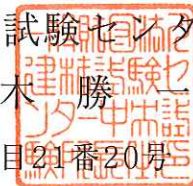
依頼者 株式会社 カ ナ イ

埼玉県八潮市西袋717-1

試験名称 木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「両ねじアンカーボルト」の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



品質性能試験報告書

試験名称	木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「両ねじアンカーボルト」の引張試験									
依頼者	株式会社カナイ									
試験体	試験体記号	アンカーボルト			基礎相当材			本数 体		
		形状及び寸法 mm	材質	表面処理	コンクリート		鉄筋			
	寸法 mm				圧縮強度 N/mm ²					
RN	・全長：367 ・埋め込み深さ：215 ・ねじ部：M12 ・軸部：直線， $\phi 10.65$ ・先端部：笠形	SWRM8 (JIS G 3505)	生地	120 × 400 × 3000	・呼び強度： 24 ・試験時 圧縮強度： $\sigma_c=24.3$	SD295A (JIS G 3112) ・主筋： D10及び D13 ・補強筋： D10	3			
(注) 1. 記載内容は、依頼者提出資料による。 2. コンクリートの試験時圧縮強度は、円柱供試体($\phi 100 \times 200$ mm)3本の平均値を示す。 圧縮試験方法は、JIS A 1108による。 参照：図-1～図-3(試験体)，表-1(コンクリートの調査)										
試験方法	概要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカーボルトにカップラー及び加力用鋼棒を取り付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を連続的に加えた。 加力装置：センターホール型油圧ジャッキ， センターホール型ロードセル(容量;100kN，非直線性;0.3%RO，ヒステリシス;0.3%RO) 測定装置：電気式変位計(容量;50mm，感度;200×10 ⁻⁶ /mm，非直線性;0.1%RO)及びデータロガー 参照：図-4(試験方法)									
試験結果	試験体		ひび割れ発生時				最大荷重時		破壊状況	
	記号	番号	上 面		側 面		荷重 (Pmax) kN	変位 (δ_{max}) mm		
			荷重 (Pc) kN	変位 (δ_c) mm	荷重 (Pc) kN	変位 (δ_c) mm				
	RN	1	22.1	0.61	45.0	3.9	45.7	4.5		・コンクリートのひび割れ ・アンカーボルトねじ部破断
		2	25.2	0.51	39.7	1.6	45.4	3.2		・コンクリートのひび割れ ・アンカーボルトねじ部破断
3		24.0	0.54	*	*	45.7	3.1	・コンクリートのひび割れ ・アンカーボルトねじ部破断		
平均	23.8	0.55	—	—	45.6	3.6	—			
(注)表中、ひび割れ発生時は初期ひび割れ発生時を表し、ひび割れ発生の確認は目視観察による。 なお、*は、当該ひび割れが発生しなかったことを示す。 参照：図-5及び図-6(荷重-変位曲線)，写真-1～写真-6(破壊状況)										
試験期間	平成27年 1月13日									
担当者	構造グループ 統括リーダー 川 上 修 統括リーダー代理 伊 藤 嘉 則 (主担当) 主 任 中 村 陽 介 内 田 祐 介									
試験場所	中央試験所									